

市民と市議とのつどい In 西彼杵高校



11月10日（金）午後、本校3年2・3組の生徒を対象とした『市民と議会のつどい』が実施されました。まず、生徒達から、西海市の行政に対する提言（要望）がなされました。多くの生徒から、バスの本数や時間帯をもう少し行政から考えてもらえないかとの要望がありました。またショッピングモールの建設を行政サイドから援助できないものかとの要望もありました。その他にもユニークな提言としては、野川翔真君から、「西海市は海という資源に恵まれており、その海を活かしたテーマパークの設立はできないものだろうか？」という提言がなされました。一方議員の方々からは、要望するだけでなく、若者に地域活性化のために自ら起業していくエネルギーを求める趣旨の話がありました。

さらに担当の議員からは、公務員と民間との給与格差是正について話がありました。その熱い弁舌に、生徒達も聞き入っておりました。

18歳になり、選挙権を取得した生徒達ですが、直接、議員の方々に要望をする機会を設けていただき、生徒達も、地方自治を身近な問題としてとらえることができたようです。



真剣な表情です…



提言を発表する生徒

県南
県北



西海市議会が「つどい」西彼杵高で初

西海市議会（平野直幸議長、18人）は10日、西海市大浦町の私立西彼杵高校（校長 165人）で「市民と議会のつどい」を開き、まちづくりについて生徒から意見やアイデアを聞いた。

つどいは、015年度から実施

まちづくり 生徒が意見発表

若者の意見をまちづくりに取り入れようと初めて高校で開いた。来月には県立西彼杵高でも開催する予定。この日は、市議員18人、3年生20人が参加。生徒がバス、バスの増設、商業施設の増設、県内企業の雇用促進、子育て支援環境の整備などを求めた。このうち市内で就職予定の女子生徒は、「市内に住みたいが、居住施設の老朽化などで希望の物件がない。市外に住むことを検討しなければならぬ」として市営住宅などの増設を要望。男子生徒は「新たに観光施設をつくるか、既存の観光施設をさらに発展させ、多くの人が西海市に集める。その収益をまちづくりに生かしてほしい」と提案した。

市議は、みなさんの意見、要望は市にしっかりと伝え、議会も勉強していきたい。「若いみなさんが中心になってまちづくりを進めてほしい。議員も一緒にがんばりたい」と答えた。野川翔真さん18は、これから政治に関わる、と語る。西海市のために努力したい、と思ったと話した。（小槻 悠）